

研修ニュース

〒518-0814

三重県伊賀市上友生 785 番地

Tel&Fax 0595-21-8839 E-mail iga-ken@iga.ed.jp

研修講座 B-16 郷土教育

【講義①】「『デジタルミュージアム 秘蔵の国 伊賀』について」

【講師】村田 智美（伊賀市上野図書館）

【講義②】「郷土教育教材『伊賀のこと』、『デジタルミュージアム 秘蔵の国 伊賀』の活用事例について」

1月26日（木）に研修講座「郷土教育」を実施しました。はじめに伊賀市教育委員会太田指導主事より学習指導要領での郷土教育のねらい、郷土教育教材『伊賀のこと』作成のねらいや活用に向けての説明があった後、伊賀市上野図書館の村田さんより『デジタルミュージアム 秘蔵の国 伊賀』のホームページにある資料の見方や操作方法等について操作を交えながらご指導いただきました。その中ではたくさんの郷土資料や文化財等の翻刻版や写真を見ることができ、普段見られないような貴重なものに誰でもふれられることができました。



続いて眞名井さんより、伊賀市の文化財と『伊賀のこと』を活用した授業展開例についてお話がありました。文化財とは、地域に伝わる古くから大切にされてきた建物・もの・行事・遺跡・貴重な動植物などのことで、その中でも特に大切なものを「指定文化財」といい、伊賀市にある指定文化財は県内でもトップクラスの数であることを学びました。また、伊賀市山畑の「勝手神社の神事踊」がユネスコ無形文化遺産に登録されたという紹介もありました。



次に伊賀市にある石山古墳と御墓山古墳などの前方後円墳、伊賀4郡の古代寺院の授業展開例について『デジタルミュージアム 秘蔵の国 伊賀』のデジタルアーカイブの活用ポイントも踏まえながらご指導いただきました。御墓山古墳は昔と今の写真からほぼ形を変えずに残されていることが分かったり、航空写真や出土した瓦から古代寺院のつながりが分かったりするなど授業を進める上でのヒントとなりました。各校で

『伊賀のこと』、『デジタルミュージアム 秘蔵の国 伊賀』のデジタルアーカイブの活用に向けて還流をお願いします。

アンケートより 【一部抜粋】

・デジタルミュージアムを実際に使ってみて、小学生でも操作しやすいと感じました。様々な写真をたくさん見ることができ、伊賀に興味を持つことができると思いました。早速子どもたちと一緒に見てみたいです。（小）

・私自身、伊賀市の出身ではありませんが初めて伊賀に来たときの文化財の多さに驚き、わくわくしました。そのわくわく感を子どもたちに伝えられるデジタル教材の話を聞いて、ますます使いたくなりました。デジタルアーカイブは、授業の1つのアクセントとして盛り込んでいく良さを感じたので活用していきたいと思えます。（中）